

# 持続可能性に配慮した調達コード（第2版）（案） 東京2020大会から進化させた主なポイント



2023年6月19日 第9回持続可能な調達ワーキンググループ

公益社団法人  
2025年日本国際博覧会協会  
企画局 持続可能性部



# サステナビリティの観点で東京2020大会から進化させた主なポイント

	調達基準（運用含む）	推奨基準（運用含む）
食品関連全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「食品ロス削減に配慮した調達」を追加</li> <li>● 対象に「パビリオン運営主体等」を追加</li> <li>● Tear1が博覧会協会に調達計画・結果を報告 (基準品の調達が困難な場合には、計画・結果に量・理由・求められる内容の遵守に向けた取組を記載)</li> <li>● 博覧会協会が調達計画・結果を集計・公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取組を行うことを宣言したTear1は、取組内容・調達状況を公表</li> <li>● 博覧会協会が、特筆すべき取組を行ったTear1を表彰</li> </ul>
農産物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 求める項目に「人権保護」を追加</li> <li>● 基準品に、みどりの食料システム法における環境負荷の低減に取り組む制度を追加</li> </ul>	—
畜産物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 求める項目に「人権保護」を追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 博覧会協会が認めるアニマルウェルフェアに関する認証等</li> </ul>
水産物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 求める項目に「人権保護」を追加</li> <li>● 漁業法の改正による資源管理の強化を反映</li> <li>● 絶滅危惧種は基本的に使用しない（加工品含む全て）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 絶滅危惧種は使用しない（加工品含む全て）</li> <li>● MEL、MSC、ASC認証</li> </ul>
パーム油	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 揚げ油、石鹼・洗剤製品について義務化 (東京2020大会では、「可能な限り優先的に調達」)</li> <li>● 認証油であっても、Tear 1 が納入事業者等に持続可能性の観点で求められる項目を確認</li> </ul>	—